

医師・患者にやさしい喉頭鏡

徳田工業(株)、三晃合成工業(株)、名古屋市立大学

従来の喉頭鏡は術者に負担をかける操作性

- 経験値の浅い医療従事者だと、誤った操作に陥り易い形状のハンドル。
- 喉頭部・口腔内を傷つける恐れのあるブレード形状。
- 操作に慣れていない麻酔科以外の医師・救急救命士に使用者が拡大。
- 年間230万～250万件の全身麻酔・気道異物窒息の患者数。

従来の喉頭鏡
挿管図



従来の喉頭鏡



安全で容易に扱える喉頭鏡を目指して

- 経験値の浅い医療従事者が、安全かつ容易に喉頭鏡を操作できるように、デザイン設計し、操作性を向上した形状。
- ブレードを透明化と高輝度LEDにより、口腔内における術者の視野を向上。
- グリップ形状の最適化により、適切な力の入れ方が可能になり、気管挿管ミスが解消。
- 操作性に優れているので、今後乳児用小型ブレード開発の要請あり。

新型喉頭鏡

口腔内で操作性に優れた
ブレード形状

力学的、
人間工学的に
最適な
グリップ形状



高度なものづくり技術を活かした事業展開

- 徳田工業(株): 航空機で培った切削加工技術を活用して、新型喉頭鏡の繊細なデザインのグリップ・金属性ブレードを名古屋市立大学と協力して、高度な5次元切削加工により製造。
- 三晃合成工業(株): プラスチック加工の技術を活かして、名古屋市立大学の協力により透明性・デザイン性に優れたブレードを金型成形により実現。
- 新型喉頭鏡について、名古屋市立大学を含め、海外展開検討中。
- 国内では上市後5年で5億円(シェア20%)の売上を想定。

高輝度
LED

高輝度LEDによって術者の
視野を向上する

